



1月号

2012年1月1日発行

あさのがわ

みやちくじちしんこうかい 広報

宮地区自治振興会

甲賀市甲南町野川818

甲南第三地域市民センター内

電話 0748-86-8518

FAX 0748-86-8519



平成三十年元日

謹賀新年

あけまして

おめでとうございます



昨年(2011年)は震災があり、心から新しい年を祝うには申し訳ない気持ちを感じずにはいられません。音楽や報道を通じ日本中に「絆」「感謝」「前進」といった言葉があふれ、私たちの心に暖かみを感じさせてくれました。

新しい年は、より復興が進み震災前の生活を被災者の皆様が送れるよう祈念致します。又私たち宮地区自治振興会も、災害に強い地域をめざし、しっかりとしたシステムを築き上げていきたいと考えています。

甲賀市では八番目、旧甲南町内では一番早く設立することができました宮地区自治振興会は、「子供会の研修旅行」「第三学区運動会」「忍にん寄席」「J.Aと共同で開催した「わくわくフェア」など四つの行事と、まちづくりの基本計画を策定しました。特に「まちづくり計画」は、地域の声を生かし、理事全員の思いや願いを結集した、宮ならではの計画と確信しております。これからは各部会を中心に地域の宝をさがし、探り、掘り起こしをして、それらを次の世代への伝承、更に活用していけるよう取り組んでまいります。子どもたちからおじいちゃんやおばあちゃんまで参画していただき、よりよい宮を共に作っていきましょう。

皆様にとって素晴らしい

一年になりますように



宮地区自治振興会理事一同

昨年を振り返って

昨年を語るに三月十一日のあの東日本大震災無くしては語れません。巨大地震と大津波がもたらした震災により、一万九千五百名もの命を奪い、原子力発電所や港湾、家屋などあらゆる物を破壊しました。ロシアのメディアは、被災した人々は、他の国なら簡単に起こり得る暴力や奪略が全くなく、困難や試練に立ち向かう事を可能にする、「人間の連帯」が存在していると称賛。アメリカは、普段からの備え、防災意識、防災システム、耐震設計を称賛。他にも日本人の冷静な姿勢、規律正しさに驚きの声が各国のメディアから報道されています。

国内の多くのボランティアや各地の自治体職員、警察官、自衛隊員等が被災地で大きな役割を果たしました。又新潟福島の洪水や紀伊半島での台風による大災害など大きな災害と共にボランティア活動が当たり前のように展開しました。神戸の震災で生まれたボランティアの活動がしっかりと根付き、絆の大切さが国内に広がりました。

一方、政府や東電の対応は、後手々々続きで被災者のみならず日本中に不信感が広がりました。

昨年はリーダーが話題になった年でもありました。エジプト・ムバラク大統領の辞任、ビンラディンやビアのカダフィ、北朝鮮の金正日総書記の死、次々と変わる日本の首相や大臣、東京都知事・大阪や名古屋の市長選も大きく報道されました。震災の際には各避難所でのリーダーの活躍、福島原発事故での、吉田前所長の判断、オリンパスの幹部、大王製紙会長の逮捕。ドラマでは信長・秀吉・家康と大きく関わり、近江で生まれ育った江の生涯 等々

ニュージランドやトルコの大地震、タイの水害、霧島連山の新燃岳の噴火、東京スカイツリーが六百三十四メートルに、パンダが上野動物園に来たのも昨年の出来事でした。

サッカー女子ワールドカップでの「なでしこジャパン」の世界一は最大の嬉しい出来事でした。体操やフィギュアスケートでの日本人の活躍の反面、相撲界では暴力や八百長、野球賭博などの不祥事が続き本場所の開催が中止されたことは残念なでき事でした。





12月 わくわくフェア



5月 子供会研修旅行



11月 忍にん寄席



4月 宮地区自治振興会 設立総会



こころが通じ合い元気で明るいまちづくり 「地域の宝」を大切に育てよう！



8月 臨時総会

9月 第三学区運動会

宮地区自治振興会